別紙３　　　　　　　　　ばい煙の処理方法

別紙２　　　　　　　　　揮発性有機化合物の処理の方法

別紙１の３　　　　　　　ばい煙等の処理等の方法（ばい煙）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ばい煙処理施設（ばい煙等の処理等を行う施設）の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| 処理に係るばい煙発生施設（届出施設）の工場又は事業場における施設番号 |  |  |
| ばい煙処理施設（ばい煙等の処理等を行う施設）の種類、名称及び型式 |  |  |
| 設置年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 着手予定年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 使用開始予定年月日 | 年　　　月　　　日 | 年　　　月　　　日 |
| 処　　　　理　　　　能　　　　力 | 排出ガス量　（m３/ｈ） | 最大 |  |  |
| 通常 |  |  |
| 排出ガス温度　　（℃） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| ば　い　煙　の　濃　度 | ばいじん(g/m３)＊ | 処理前 | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） |
| 処理後 | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） |
| 処理効率 |  |  |
| いおう酸化物(ppm) | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| 窒素酸化物(ppm)＊ | 処理前 | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） |
| 処理後 | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） | (０２＝　%） |
| 処理効率 |  |  |
| (mg/m３)（ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| (mg/m３)（ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| (mg/m３)（ppm） | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 処理効率 |  |  |
| ばい煙量 | いおう酸化物（m３/h） | 最大 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 通常 | 処理前 |  |  |
| 処理後 |  |  |
| 使用状況 | １日の使用時間及び月間使用日数等 | 　　時から　　　時まで　　時間／回、　　回／日、　　日／月 | 　　時から　　　時まで　　時間／回、　　回／日、　　日／月 |
| 季節変動 |  |  |
| 排　出　口　の　実　高　さ　Ｈｏ(m)及　　び　　頂　　上　　口　径　Ｄ(m) | Ｈｏ　　　　　　　Ｄ　 | Ｈｏ　　　　　　　Ｄ　 |
| 排出口の番号 |  |  |
| 陣傘の有無 | 有　・　無 | 有　・　無 |
| 補正された排出口の高さ　Ｈｅ(m) |  |  |
| 排　　　　出　　　　速　　　度　(m/s) |  |  |
| 排出口の中心からその至近距離にある敷地境界線までの水平距離(m) |  |  |
| 　添付書類　ばい煙処理施設（ばい煙等の処理等を行う施設）（煙突、フード、ダクトを含む。）の構造概要図（主要寸法及び測定箇所を記入すること。） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 排出口の中心からその至近距離にある他人の所有する建築物（倉庫等は除く。）の実高さh(m)及び水平距離d(m) | ｈ　ｄ　 | ｈ　ｄ　 |
| ばい煙測定口の有無及び口径 | 有（口径　　　　mm）　・　　無 | 有（口径　　　　mm）　・　　無 |

備考　１　設置届出の場合には着手年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄にそれぞれ記載すること。

２　排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が１気圧の状態（この項において「標準状態」という。）に

おける量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス１立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

３　ばい煙の濃度は乾きガス中の濃度とすること。

４　補正された排出口の高さHeは、大気汚染防止法施行規則第３条第２項の算式により算定すること。

５　参考事項として、処理効率に係る設計上の基本的事項に関する資料を添付すること。

＊左欄にはメーカーの設計値（メーカー保証値、測定値等）を記載すること。右欄には標準酸素濃度に換算した値を記載すること。